

協働時代

ホップ～ステップ～ネットワーク

岐阜市NPO・ボランティア協働センター

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1丁目12番地(岐阜中日ビル2F)

TEL & FAX (058) 264-0011

E-Mail vorabi@fine.ocn.ne.jp URL <http://www16.ocn.ne.jp/~kyoudou/>



第25号

2011年
2月9日
発行

紙面

- 市民活動支援事業活動レポート (1～3P)
- いきいきセミナー報告 (4・5P)
- NPOイベント情報 (6P)



平成 22 年度市民活動支援事業 活動レポート

岐阜市では、地域社会の課題解決を目的として市内で活動する市民の皆さんを応援する『市民活動支援事業』を行っています。6月に行った公開コンペティションにおいて、応募のあった33事業の中から19の事業が助成対象に選ばれました。

当センターでは助成団体の活動取材し、「協働時代」「ホームページ」などで紹介しています。前号の9団体の紹介に引き続き10団体の活動を紹介します。



NPO 法人 岐阜ダルク

薬物依存者への社会復帰の為に援助事業

薬物依存者が依存症から回復し、社会の中でいきいきと暮らしていくことができるよう支援しています。

岐阜ダルクの活動を多くの人に知ってもらうため、活動紹介、体験談、薬物依存症に関する話題などを掲載したニュースレターを発行し、さまざまな機関に配布しました。また、昨年度助成を受けて作成したパンフレットを配布した際の質問を、Q&Aとしてまとめた冊子を作成し、関係機関に配布します。



鵜鮎つうしん



ニュースレター印刷作業

美殿町街づくり委員会

美殿町秋祭 キモノマーケットで街の賑わい再生

歩行者天国になった美殿町通りにはたくさんの出店が並び、着物を着て街歩きをする人も多く見られました。インターネットで出店者を募集したキモノマーケット会場には、アンティーク着物や和装小物が並び、着付けレッスンや無料のキモノ体験、トキメキトークショー「CHOKOとキモノとおしゃべり」とが開催されました。



秋の美殿町を着物で散歩



トークショーには着物を着た女性も参加しました

鏡島の歴史書刊行委員会

「鏡島湊」案内板建設事業

戦国時代から明治時代まで、川湊として栄えたといわれる「鏡島湊」の歴史を後世に伝えるために、案内板を設置しました。8月19日に基礎工事が始まり、9月19日には除幕式が行われました。除幕式には地元の人たちがおおぜい集まり、完成を祝いました。

案内板には江戸時代後期の「長良川通絵図」写や、昭和初期の湊の写真などが掲載され、鏡島湊の沿革について説明されています。



案内板を興味深く眺める地元の人たち



除幕式の様子

NPO 法人 チュラサンガ

冬野菜栽培による地域振興及び就労支援事業

ひきこもり・不登校など心に悩みを抱えている青年たちの自立支援を目的に、農業経営を行いました。ブロッコリー、小松菜、みず菜などを栽培、収穫し販売しました。昨年は苗から育てていたブロッコリーを、今年は種から栽培するなど、JA や地元の農家の指導を受けながらスキルアップを目指しています。

また、同じように障がい者や若者の就労支援を目的に、ダンボールコンポストによる堆肥づくりを行っている NPO 法人仕事工房ポポロから堆肥を購入し、育てた野菜を販売してもらう事業も始めました。



収穫したブロッコリーの選別作業



一面のブロッコリー畑で農作業

NPO 法人 ゆうき救命の会

救急蘇生の講習会事業

心肺蘇生法、救急蘇生、AED の普及を通して人の命の大切さを考えてもらうことを目的に、救急蘇生講習会を行いました。8月8日は、「初めてでも簡単にできる！ AED の講習会」として、ハートフルスクエア G で開催しました。

法人設立の経緯と活動についての説明に続き、一人一台の簡易マネキンを使って胸骨圧迫法、AED の使用法を学びました。参加者は2人ひと組になって、目の前に倒れた人がいることを想定し、救命処置法を流れに沿って実習しました。



活動の紹介



簡易マネキンを使って胸骨圧迫法を実習

「移動困難者の移動の確保に対する研究会」

岐阜市の主として障がい者における「外出・移動ニーズ」の拡充を考える事業

障がい者の外出、移動の拡充を目指して、『バスに乗ろう！車椅子での市内循環バス乗車体験』を行いました。参加者は、車椅子に乗る人と介助をする人が組んで、JR 岐阜駅からマーサ 21 と柳ヶ瀬行き二つのグループに分かれてバスで移動しました。目的地で散策、昼食をとった後、岐阜駅に戻ってまとめの会を行いました。まとめの会では、「車椅子固定装置があっても固定しない乗務員もあり、障がい者対応の研修を充実すべきだと思う」「車椅子利用者が頻りに公共交通機関を利用することも大事だ」などの意見が出されました。



車いすに乗る人と介助をする人が組んで市内バス乗車体験

中山道河渡宿の会

第9回 祭いこまい 中山道河渡宿の宣伝広告事業

祭の主会場が前回までと変わったため、宣伝広告活動を拡大し、参加した人たちに手作りの祭の楽しさを広めました。

時代行列は河渡地区一帯を練り歩き、舞台イベントが行われる主会場に集結しました。舞台では合渡小学校6年生による獅子舞、がまの油売りなどが披露され、来場者を楽しませました。会場には出店が並び、中山道河渡宿の会直営店では、鮎の塩焼き、カレーライス、鮎雑炊などが売られました。岐阜西中学校の生徒たちも、スーパーボール、かき氷、射的の店を開きました。



ステージには美しいお姫様や家臣が勢ぞろい



中学生も売り子になって大活躍

大洞の里山つくろう会

大洞の里山づくりで まちを元気に！！

大洞3丁目地内の里山を整備しました。下草刈り、倒木整理、遊歩道の整備などを行い、12月18日には、整備した里山を地域の人たちと共有するために『大洞の里山まつり』を開催しました。まつり会場となった広場では、地元の人たちによるコーラスや、オカリナ演奏、マジックショーなどが行われ、参加した地元の人200名ほどが冬の一日を楽しみました。また、みたらし団子やおでんが振る舞われたり餅つきも行われて、子どもたちも杵と臼での餅つきを体験しました。



記録的な猛暑の中での作業

「大洞の里山まつり」には、地元のみなさんが大勢参加しました

NPO 法人 花の会

歴史発見 かざをりゑぼしと山田顕義

明治時代の元勲山田顕義伯爵が詠み、岐阜で唄いつがれた「かざをりゑぼし」について学ぶ交流会を開催しました。山田顕義来岐120年を記念して開かれたこの交流会は3部で構成されており、第1部は歴史博物館の特別展「鶴飼～宮内庁所属120年～」の見学と解説、第2部はかざをりゑぼしの舞の披露、第3部では鶴飼い見物と舟遊び交流会が行われました。

また、「岐阜町花街ワークショップ」を萬松館北にある杉山邸「松畔楼」で、「かざをりゑぼしパネル展」を鶴飼観覧船待合所2階で開催しました。



市歴史博物館特別展「鶴飼～宮内庁所属120年～」を見学



舞「かざをりゑぼし」を披露

子どもの人権ネットワーク・岐阜

発達障がい理解講座～子ども一人一人の特性を理解する～

全3回の連続講座「発達障がい講座～子ども一人一人の特性を理解する～」を開催しました。第1回「障がいってなんだろう？ - 疑似体験を通して発達障がいを知る -」は、NPO法人と一たす理事長 西鶴園 弥生さんを講師に迎え、発達障がいの特徴を知る手がかりとして、物の見え方や聞こえ方、指先の感覚の違いを体験しました。第2回は「LD（学習障がい）理解と疑似体験」。第3回は「発達障がい児の思春期と二次障がい予防のシナリオ」をテーマに、3月2日に開催します。



軍手をはめて折り鶴を作る疑似体験



LDについての理解を深めたい人で会場は満席

お知らせ

平成22年度市民活動支援事業 報告会

助成対象となった19団体が、さまざまな分野で取り組んだ事業の報告をします。市民のみなさんに活動を知っていただくため、公開で開催します。お気軽にお越しください。

■ 日時 2月19日(土) 10:00～15:00

■ 場所 柳ヶ瀬あい愛ステーション
岐阜市柳ヶ瀬通2丁目17番地



昨年度の報告会の様子



交流会



～これからの協働をめざして～

岐阜市では、平成16年3月に策定された『岐阜市協働のまちづくり指針』に基づき、翌17年5月から「市民協働推進リーダー」を各部局に設置し、平成18年3月には、協働事業の実施における基本的な考え方や手法・手順を整理した「NPOとの協働事業推進のためのガイドライン」を策定しました。

「ガイドライン」の導入に伴い、18年度よりNPO・岐阜市双方から協働事業の提案を通年で受け付け、提案事業について担当課とNPOで話し合う「協議の場」の実施や、次年度の予算編成時期に向かう8月～9月には、協働事業の提案を集中募集して「一斉協議の場」を開催しています。



今年度のいきいきセミナーは、「協働のガイドライン」導入以降4年間の協働を振り返り、これから必要とされる協働のあり方を考え合い、質・量の伴うよりよい協働につなぐことを目的に“よく分かる協働への道のり”と題して全3回で開催しました。

第1回「協働型地域経営の成果と展望その1」

平成22年9月2日 岐阜市消防本部 参加者48名

講師：鈴木 誠 氏（岐阜経済大学経済学部教授（兼）地域連携推進センター長）

「協働」は、地域の一人ひとりがより豊かに生きるためのプロセス。NPO、企業、行政の持ち味と役割、これからの公共を「協働」で担うことの意義を考え合いました。

参加者の声

- *岐阜市のまちづくり、協働事業を外からの目で解説していただき、これまでとは少し違った印象を受けました。また、都市内分権という新しい視点も勉強できて非常に有意義でした。
- *「協働」を広い意味で考えていかねばと考えさせられました。いつの間にか変わってきてしまった…。行政がやってくれるべき事となり、人間同士の関わりを忘れてしまっています。変遷を知らない人たちが成人になっている今、もう一度みなおし、変えていくという考え方は目からウロコでした

第2回「協働型地域経営の成果と展望その2」

平成22年12月17日 岐阜市消防本部 参加者64名

講師：鈴木 誠 氏（岐阜経済大学経済学部教授（兼）地域連携推進センター長）

「期待が膨らむ近隣自治コミュニティのマネジメントの力」の先駆例をお伺いし、私たち一人ひとりが地域の力をみなおすことから「協働」の一步が始まるということ、自らのエンジンで動くことなどを具体的に描くことができました。

参加者の声

- *行政と民間（NPO法人）が協働で事業を実施することにより、大きな事業ができることが分かりました。NPO法人の事業を、多くの人に周知することの大切さを考える機会になりました。
- *小さな単位、危機意識が高いところが「まちづくり」が盛んかというところでもない。要因は様々あり、成果も異なると改めて気付かされました。

第3回「たしかな歩みへ

～新たな市民社会を支えるNPO～

平成23年1月28日 岐阜市役所西別館 参加者36名

講師：金山 由紀子 氏（岐阜県環境生活政策課NPO支援担当）

これからの公共を支えるNPOが地域に根ざして歩みを進めるため、「岐阜県における特定非営利活動促進法の運用方針」と内閣府から発表された「新しい公共支援事業」を中心にお話を伺いました。

参加者の声

- *興味深い内容でよかったです。
- *新しい公共支援事業について、国も県も行政が市民活動をささえるしくみに努力していらっしゃる事が良く解りました。期待します！



▲ 第1回セミナーの様子



▲ 第2回セミナーの様子



▲ 第3回セミナーの様子

報告

ハートフルフェスタ

……集い・ふれあい・学びあい……

2011

ボランティア・NPO相談窓口を開設！

1月15・16日、ハートフルスクエアGにて“ハートフルフェスタ”が開催されました。会場内では講演会やステージ発表、おもちゃ病院や工作体験など各種イベントがにぎやかに行われ、その一画にボランティア・NPO相談窓口も開設されました。

窓口には「市内で活動する際に、どのような制度があるのでしょうか？」「個人で行っているボランティア活動があるが、限界があるので、どこかの団体と一緒に活動したい」といった相談が寄せられ、市民活動を行う際に活用できる制度や、様々な市民活動についての情報を提供することができました。





NPOイベント情報



三輪の里自然散策会

早春の里山を、自然の家スタッフと一緒に歩きます。
解説を聞きながら、春の訪れを感じてみませんか？

- 日時 3月6日(日) 9:30~12:00 ※雨天決行
- 集合場所 岐阜市少年自然の家キャンプ場
- 参加費 200円(傷害保険料含む)
- 持ち物 活動しやすい服装、靴、帽子、雨具など
- 応募方法 電話またはファックスで、氏名・性別・電話番号を下記までご連絡ください。
申込締切: 2月26日(土)

※定員50名

岐阜市少年自然の家

〒501-2502 岐阜市山県北野 2081 番地
TEL 058-229-2888 (自然散策係)
FAX 058-229-2933

花の会創設十周年記念 花の会

弥生三月、皆様を「おざしき」の世界へお招きしたいと存じます。
「おざしき」は、日本の生活文化とともなしの心を凝縮した一つの文化。
春の宵のひとつときを、ゆったりとお過ごしてください。

- 日時 3月5日(土) 18:30開場 18:45開演
- 場所 岐阜市文化センター小劇場
- 入場料 3,000円(全自由席)
- プログラム 御祝儀(舞踊) お座附(季節の舞や踊り)
はなし・あそび 大喜利(落語)

※チケットのお求めは下記まで

NPO法人 花の会

岐阜市東高岩町 19 番地
TEL 058-262-3527
FAX 058-266-7479

障害のある人もない人も共に楽しむ 第23回大カルタ取り大会

1メートル四方の大きな絵札を車椅子に乗って取るカルタ取り。
福祉や障害者問題などをテーマにしたオリジナルの歌と絵でゲームを楽しみながら、一緒に交流しませんか。

- 日時 3月27日(日) 10:00~16:10 (受付9:30)
- 場所 岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム (岐阜市長良福光大野 2675-28)
- 会費 大人 1,000円 / 小学生以下 700円 (弁当付き)
※上履きをご持参ください
- 申込締切 3月18日(金) ※送迎・介護が必要な方は2月25日(金)まで

特定非営利活動法人障害者自立センターつかいぼう

TEL 058-215-7374 FAX 058-296-5343
E-Mail tsukkaibou-information@yahoo.co.jp

高橋尚子杯ぎふ清流マラソン ボランティアに参加してみませんか？

「ぎふ清流マラソン」は、全国からトップランナーと市民ランナー
1万人が疾走する岐阜のビックイベントです。マラソンはランナー
だけでなく、応援やサポートする方が一緒になって作りあげる
お祭り。記念すべき第1回大会を一緒に盛り上げませんか。

- 日時/活動内容 5月13日(金) 9:00~12:00 / 13:00~17:00 参加賞袋詰めなど
5月14日(土) 12:00~19:00 ランナーの受付など
5月15日(日) 6:30~15:30 大会当日の活動
- 募集人数 約2,300名(先着順) 募集期間 1月31日(月)~3月31日(木)
- 申込方法 申込用紙をHPから印刷するか下記へご請求の上、郵送。

高橋尚子杯ぎふ清流マラソンボランティアセンター

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通 1-12 岐阜中日ビル 6F
電話専用ダイヤル 058-265-0196 (平日 11時~17時) FAX 058-265-9398
URL <http://www.gifu-marathon.jp>

主催: 高橋尚子杯ぎふ清流マラソン実行委員会、岐阜陸上競技協会

里山保全「間伐・枝打ち作業」

参加者募集!

ながら川ふれあいの森 古津の間伐、枝打ちを行います。
環境保全活動を体験しませんか。

- 日時 2月27日(日) 9:00~15:00 (小雨決行)
- 場所 ながら川ふれあいの森 古津側駐車場集合
- 参加費 無料
- 持ち物 健康保険証(写し)、飲み物、作業に適した服装、軍手、滑らない靴(長靴可)、雨具、防寒着など(おにぎり、鋸、鉋、ヘルメットはクラブで用意します)
- 参加要件 18歳以上の健康な方 男女は問いません

市民参加の竹炭焼き体験会

ながら川ふれあいの森の竹林整備で切り出した
孟宗竹を利用して、竹炭づくりを行います。

- 日時 炭焼き 3月5日(土) 9:00~16:00(雨天中止)
炭出し 3月6日(日) 9:00から2時間ほど
(中止の場合 3月12・13日に順延)
- 場所 ながら川ふれあいの森 三田洞側駐車場集合
- 参加費 1,000円 (材料、保険料など)
- 持ち物 健康保険証(写し) 弁当、飲み物、作業に適した服装
- ※<募集人数 20名> 往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記宛 2月22日(火)まで(当日消印有効、応募多数の場合抽選)

シイタケ・ナメコの菌打ち体験会

家庭栽培用のキノコの菌打ちを体験しませんか。
菌を打ったほだ木を持ち帰って、自宅で収穫しましょう。作業時間は30分くらいです。

- 日時 3月27日(日) 9:00~12:00
(受付 9:00~10:00) 小雨決行
- 場所 ながら川ふれあいの森 三田洞側駐車場集合
- 参加費 800円 (ほだ木1本・キノコ菌・資料・保険料)
- 持ち物 作業に適した服装・飲み物・軍手・タオル・ほだ木を入れるビニール袋(45Lのゴミ袋)
- 定員 現地先着 100名

NPO法人 ぎふし森守クラブ

〒502-0908 岐阜市近島 4-1-10
TEL/FAX 058-231-3219 携帯 090-3835-7132 (神山)

編集後記

- ◇幼年時代に木登りしていた柿の木やむをえず「さよなら」しなければならなくなり涙しました。「ありがとう!感謝!」それが今、私に言えること。(青木)
- ◇不覚にもインフルエンザにかかってしまいました、寝込んでいた間は熱でつらかったです。皆さんは体調管理に注意してくださいね。(坪内)
- ◇年末年始に起きた雪の影響による車の立ち往生。地域の皆さんすごいですね。公民館を開放したり食べ物配ったり、すごくあったかいですね。いざという時、そんな行動ができるといいですね。(浅井)
- ◇日々の暮らしは変わりばえがないけれど、10年前を思い返すと生活には大きな変化が。今を受け止められる柔軟さが大切だと感じます。(岩月)
- ◇「経験は最良の教師」どこかで聞いた名言。複数のNPO法人の活動事例を聴く機会があり、発表を聴きながら思い出した言葉です。成功の裏には失敗の経験があることも。(坂本)
- ◇久しぶりの大雪。生活面では大変ですが、子どもたちは大はしゃぎ。いろいろな物事も見方を変えながらポジティブに捉えることは大切だと感じました。(野尻)
- ◇東風吹く前に、今年も近所の園庭の梅が一番乗りで咲いた。「新しい公共支援事業」も動き出す春。根を張る木々の芽吹きに期待!(長谷川)
- ◇「新しい公共支援事業」が始まろうとしています。新しく始まる新学期のように、どんな事業が提案され、実施されるのか期待しています。(藤本)

